



2024年3月期 決算説明資料



- ① 2024年3月期の実績 P 2～
- ② 2025年3月期の予想 P15～
- 【参考資料】 P18～

① 2024年3月期の実績

1. 2024年3月期 連結決算概要

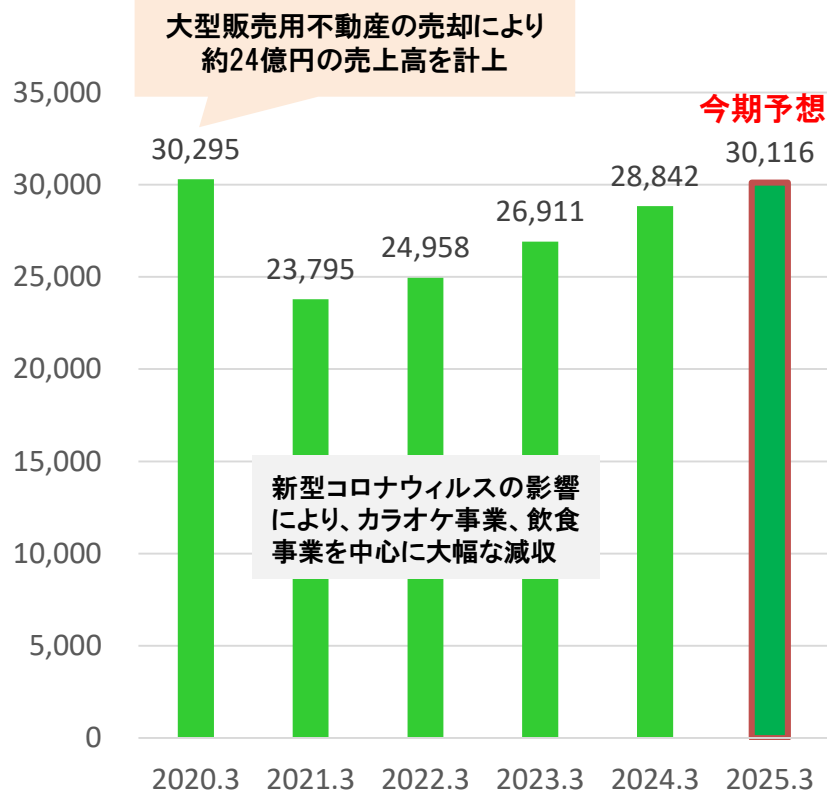
	2023/3 実績		2024/3 実績		前年対比 増減(%)	(参考)予想対比	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)		増減金額	増減 (%)
売上高(百万円)	26,911	100.0	28,842	100.0	+7.2	+14	+0.1
営業利益(百万円)	△798	-	589	2.0	-	+64	+12.3
経常利益(百万円)	△139	-	1,189	4.1	-	+284	+31.5
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	△400	-	213	0.7	-	△25	△10.6
1株当たり純利益(円)	△20.72	-	11.05	-	-	△1.3	-
1株当たり配当金(円)	5	-	10	-	-	-	±0
施設・店舗数						施設・店舗数	
介護施設(カ所)	121	-	120	-	△1	120	±0
カラオケ店舗(店舗)	80	-	76	-	△4	76	±0
飲食店舗(店舗)	10	-	10	-	±0	10	±0

- 2024年2月9日に通期連結業績予想を修正。
- 主に介護施設数の増加及びカラオケ事業、飲食事業の業績の回復により、前年と比較して増収となる。
- 介護事業において6月より入居料の値上げを行ったこと、カラオケ事業の赤字額の縮小等により増益となる。
- 介護事業において物価高騰対策支援金等、営業外収益が想定よりも多くあり、経常利益は、予算を上回る結果となる。

1. 2024年3月期 連結決算概要

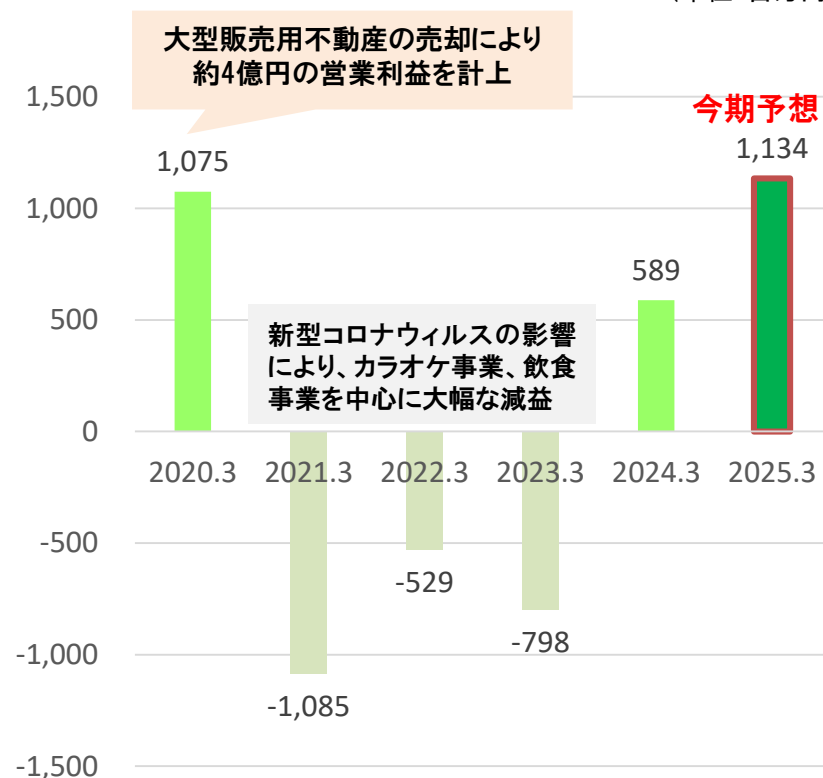
連結売上高

(単位:百万円)



連結営業利益(損失)

(単位:百万円)



2. 事業別サマリー ① 介護事業

(単位:百万円)

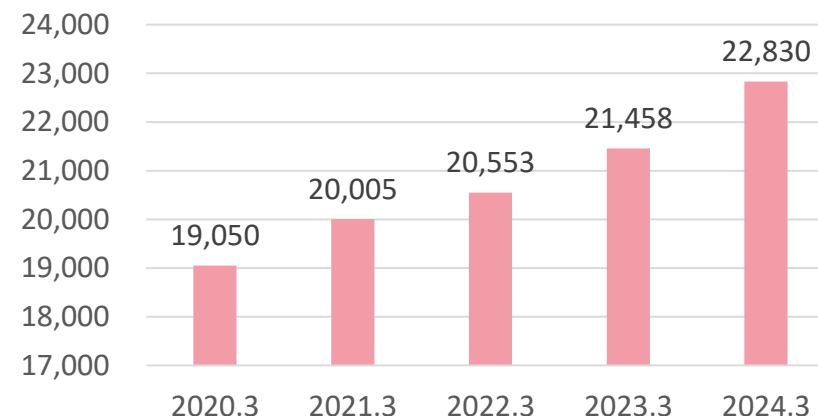
	2023/3	2024/3	前年 同期比	(参考)予想対比	
				増減金額	増減比
売上高	21,458	22,830	+6.4%	+44	+0.2%
セグメント利益	860	1,585	+84.2%	+184	+13.2%
セグメント利益率	4.0%	6.9%	+2.9pt	-	+0.8pt

	2023/3		2024/3	
	既存施設	全施設	既存施設	全施設
入居率	92.3%	89.6%	91.5%	90.4%
ベッド数	5,556床	5,749床	5,749床	5,837床

退去率	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
退去者数 /総入居者数	2.4%	2.5%	2.8%	2.8%

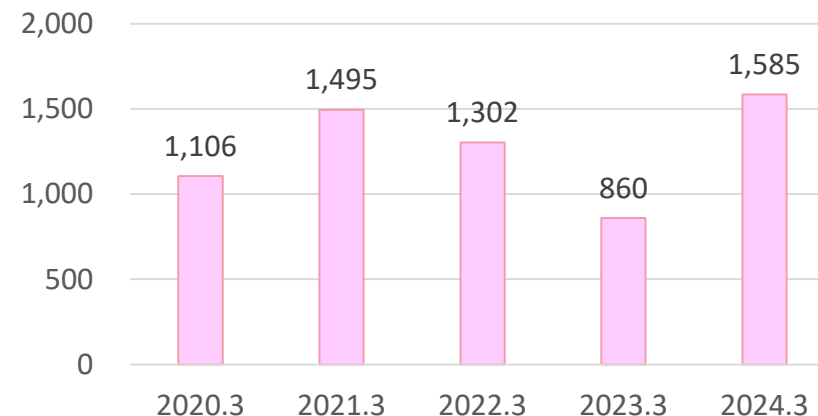
- 事業所の統合、合理化なども行い拠点は120ヶ所197事業所。
- 新型コロナウイルスの感染症分類が5類に引き下げられて以降積極的に活動を再開。売上高、セグメント利益ともにコロナ前を上回り、過去最高となる。

(百万円)



■ 売上高

(百万円)

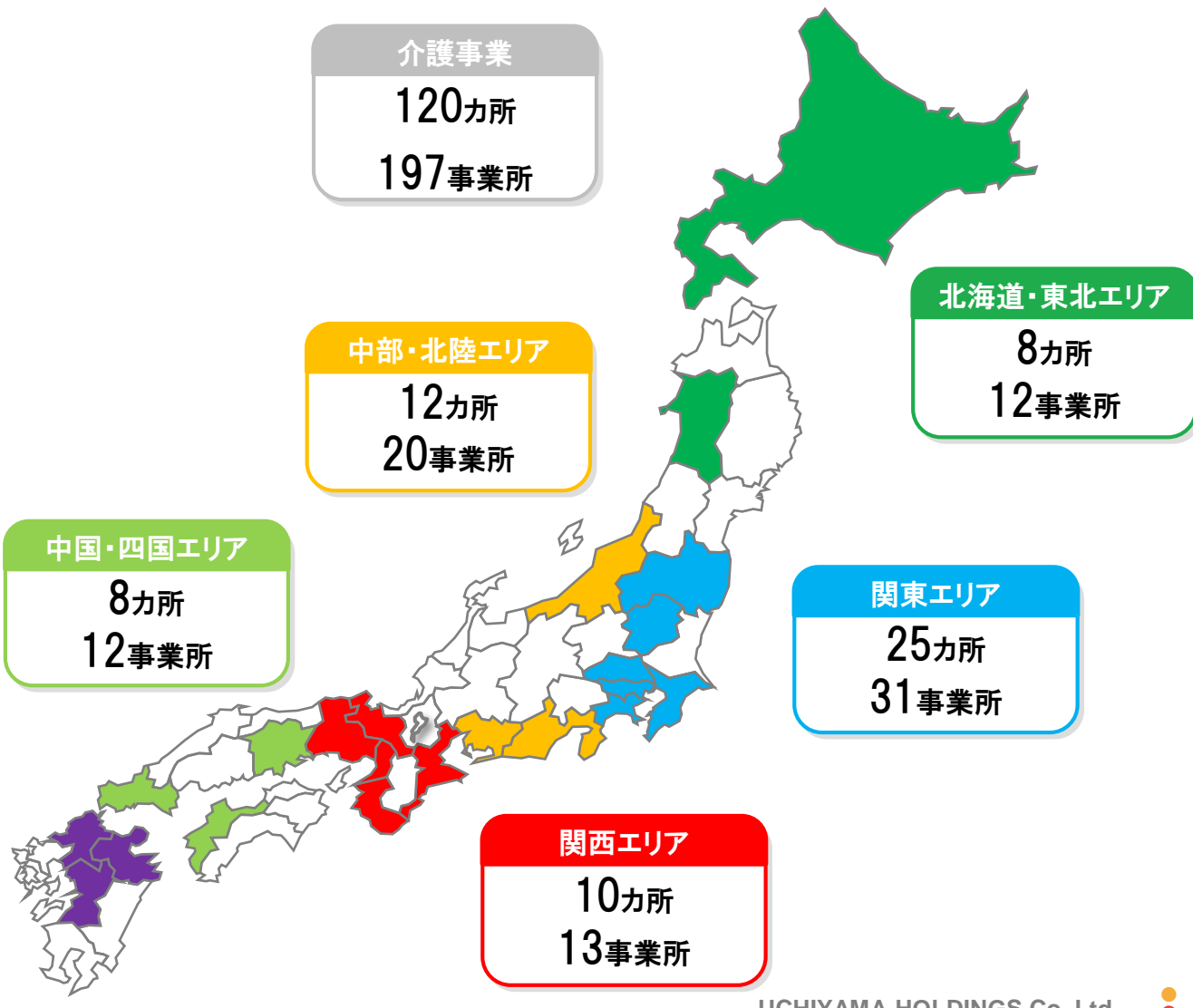


■ セグメント利益

2. 事業別サマリー ① 介護事業

展開状況（2024年3月31日現在）

	事業所数
特定施設	70
住宅型有料老人ホーム	14
ショートステイ	34
グループホーム	14
デイサービス	18
障がい児通所支援事業	26
その他	21
合計	197



2. 事業別サマリー ① 介護事業

戦略 ①

特定施設
の積極展開

戦略 ②

放課後等
デイサービスの展開

戦略 ③

M&Aの
推進

戦略 ④

介護施設を収益
不動産として取得
(不動産事業)

戦略 ⑤

福祉用具販売
・レンタル部門の強化

2023年度以降の新規開設

2023年 12月開設	さわやか目白の里 (東京都新宿区)	介護付きホーム (特定施設)	56床
2024年 4月開設	さわやかとよたの里 (愛知県豊田市)	介護付きホーム (特定施設)	56床

2022年度に取得した収益物件(介護施設)

2023年 3月取得	オリーブ柏原 (大阪府柏原市)	サービス付き高齢者向け住宅
2023年 3月取得	オリーブ柏原PLUS (大阪府柏原市)	介護付きホーム

- 安定した家賃収入を見込むとともに、運営オペレーターとの関係性を構築し、事業者間でのシナジーを期待。

リーズナブルな価格設定

- 入居一時金 = 0円
- 月額基本料金(居室料+食費+管理費) 約141,000円

堅調な入居率

- 既存施設(2024年3月期平均) 91.5%
- 既存施設(2023年3月期平均) 92.3%

2. 事業別サマリー ② カラオケ事業

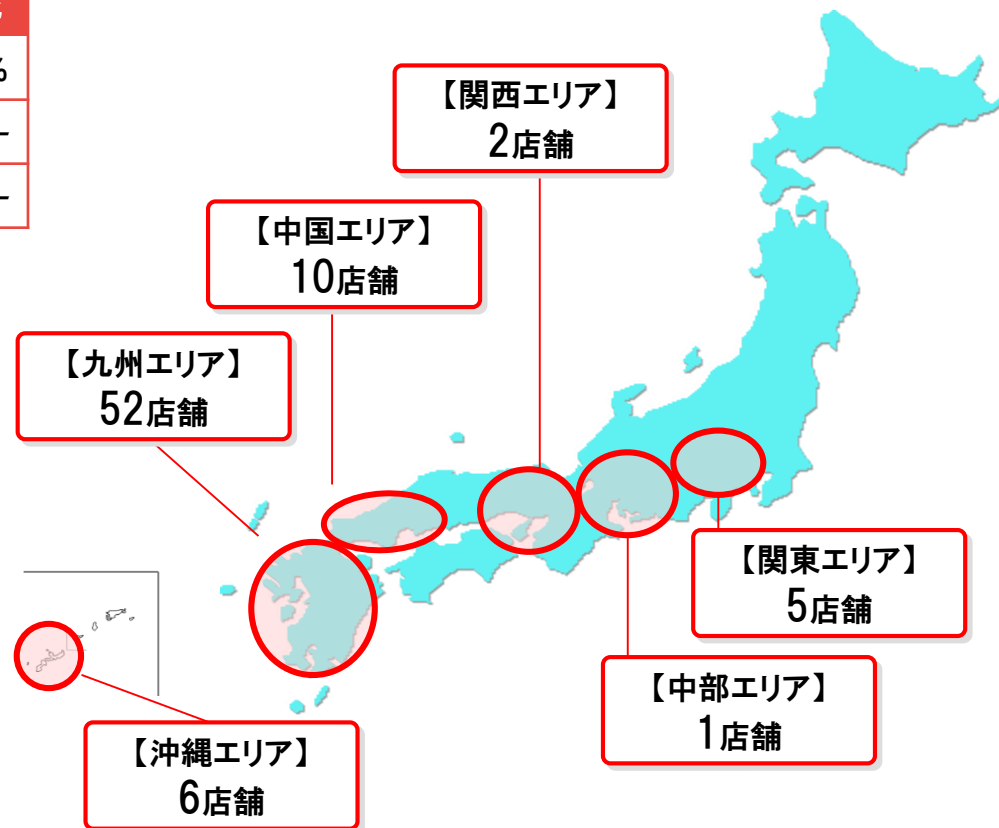
(単位:百万円)

	2023/3	2024/3	前年 同期比	(参考)予想対比	
				増減金額	増減比
売上高	4,256	4,940	+16.1%	△24	△0.5%
セグメント利益	△769	△324	—	△64	—
セグメント利益率	—	—	—	—	—

カラオケ事業の展開状況 合計76店舗 (2024年3月末現在)

	2023/3		2024/3	
	既存店舗	全店舗	既存店舗	全店舗
客数	2,780千人	2,874千人	3,109千人	3,118千人
客単価	1,435円	1,430円	1,528円	1,528円

- 前期と比較して、客数は回復傾向、メニュー単価の改定により客単価も上昇。
- 店舗数は前期末より4店舗減少、76店舗。
- 引き続き家賃の減額交渉等経費の節減に努める。



2. 事業別サマリー ③ 飲食事業・不動産事業・その他

飲食事業

(単位:百万円)

	2023/3	2024/3	前年 同期比	(参考)予想対比	
				増減金額	増減比
売上高	499	658	+31.9%	△5	△0.8%
セグメント利益	△64	18	—	△16	△46.8%
セグメント利益率	—	2.8%	—	—	△2.4pt

- 店舗数は国内のみ10店舗。
- コロナウィルス感染症に起因する社会不安は緩和しており、集客は回復傾向となる。

不動産事業

(単位:百万円)

	2023/3	2024/3	前年 同期比	(参考)予想対比	
				増減金額	増減比
売上高	527	350	△33.6	+4	+1.4%
セグメント利益	146	128	△12.1	+1	+1.5%
セグメント利益率	27.8%	36.7%	+9.0pt	—	+0.1pt

- 前期と比較して販売用不動産の取引の差異により減収減益となるが、前期収益不動産の建設及び取得により、賃料収入は増加。

その他

- ①日本国内企業における就労人材需要に対して、インドネシア人材の紹介を提案。
- ②①で合意を得たのち、インドネシアにてインドネシア人を対象に日本語教育を行う。
- ③履修後、特定技能外国人として国内に向かい入れを行う際、登録支援機関である㈱ウチヤマホールディングスが入国、就労、生活等の支援を行う。

㈱ウチヤマ
ホールディングス

PT. Sawayaka Fujindo
Indonesia

㈱ウチヤマ
ホールディングス

国内企業へのイン
ドネシア人材の紹
介業務

インドネシア人へ
の日本語教育の
提供

特定技能外国人と
して国内へ受け入
れ・登録支援業務

(単位:百万円)

	2023/3	2024/3	前年 同期比	(参考)予想対比	
				増減金額	増減比
売上高	170	63	△62.5	△4	△6.1%
セグメント利益	△97	38	—	0	—
セグメント利益率	—	59.6%	—	—	+2.7pt

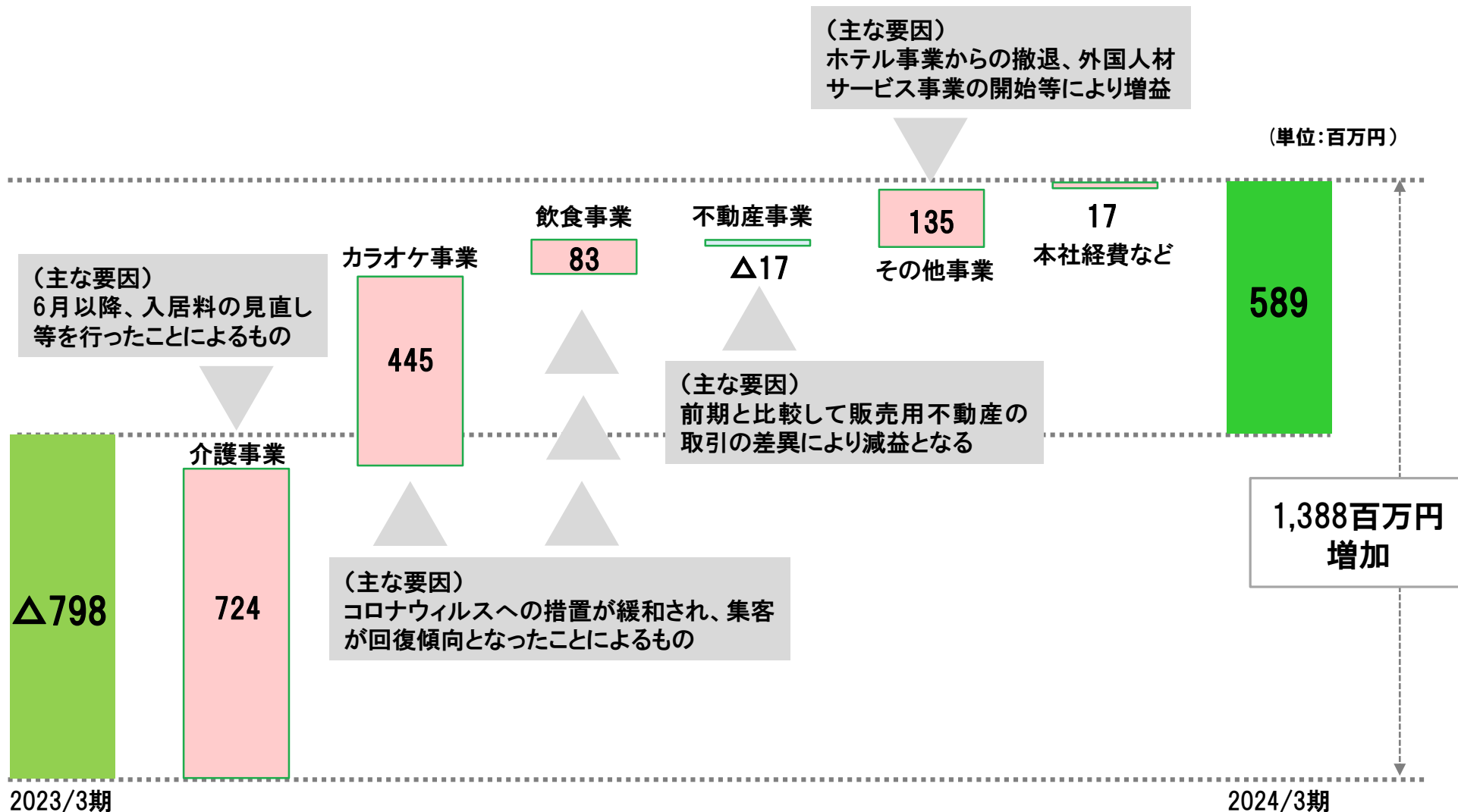
- 2023年3月末をもってホテル事業より撤退。前期は主にホテル事業の業績。

3. 要約損益計算書（連結）

（単位：百万円）

	2023/3 累計	構成比 (%)	2024/3 累計	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	26,911	100.0	28,842	100.0	7.2
売上原価	26,156	97.2	26,740	92.7	2.2
売上総利益	754	2.8	2,102	7.3	178.5
販売費及び一般管理費	1,553	5.8	1,513	5.2	△ 2.6
営業利益	△ 798	—	589	2.0	—
営業外収益	819	3.0	721	2.5	△ 12.0
営業外費用	159	0.6	120	0.4	△ 24.5
経常利益	△ 139	—	1,189	4.1	—
特別利益	290	1.1	192	0.7	△ 33.8
特別損失	268	0.0	561	1.9	108.7
税金等調整前当期純利益	△ 117	—	820	2.8	—
法人税等	282	1.1	606	2.1	114.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 400	—	213	0.7	—

3. 要約損益計算書（連結） 営業利益 増減分析



3. セグメント利益 増減分析 コロナ前(2020年3月期)との比較

(単位:百万円)

		2020年3月期		2024年3月期		コロナ前比	
		金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	増減額	率(%)
介護事業	売上高	19,050	100.0	22,830	100.0	+3,779	19.8
	利益	1,106	5.8	1,585	6.9	+479	43.3
カラオケ事業	売上高	6,832	100.0	4,940	100.0	△ 1,892	△ 27.7
	利益	569	8.3	△ 324	-	△ 893	-
飲食事業	売上高	1,249	100.0	658	100.0	△ 590	△ 47.3
	利益	△ 5	-	18	2.8	+23	-
不動産事業	売上高	2,955	100.0	350	100.0	△ 2,605	△ 88.1
	利益	556	18.8	128	36.7	△ 428	△ 76.9

- 介護事業は順調に成長。入居料の見直し等で利益率も改善傾向。
- カラオケ事業では店舗数は91→76に減少。店舗数の減少を踏まえても、回復の遅れを実感。
- 飲食事業では店舗数が18→10店舗に減少しているため、売上高は大幅に減少しているが、利益面では回復。
- 不動産事業では2019年4月に行った東京都港区新橋の販売用不動産の売却取引が売上高、利益を大きく押し上げた。

5. 要約貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

資産の部			
	2023/3	2024/3	増減額 (百万円)
流動資産	13,528	14,996	1,468
現金及び預金	9,446	10,758	1,312
棚卸資産	288	234	△ 53
固定資産	16,539	16,126	△ 413
有形固定資産	11,090	10,771	△ 318
建物及び構築物(純額)	7,432	7,288	△ 144
土地	3,390	3,234	△ 156
無形固定資産	36	33	△ 3
投資その他の資産	5,412	5,321	△ 91
資産合計	30,067	31,123	1,055

負債/純資産の部			
	2023/3	2024/3	増減額 (百万円)
流動負債	8,336	9,263	927
短期借入金	2,877	2,855	△ 22
1年以内返済予定の 長期借入金	2,409	2,439	29
固定負債	9,469	9,492	23
長期借入金	8,159	8,191	31
負債合計	17,805	18,755	950
(有利子負債)	13,670	13,637	△ 33
純資産合計	12,262	12,380	118
(自己資本比率)	40.8 %	39.7 %	△ 1.1pt
(ネットD/Eレシオ)	0.37 倍	0.29 倍	△ 0.08pt
負債純資産合計	30,067	31,123	1,055

※1 有利子負債＝短期借入金+1年内返済予定の長期借入金+設備未払金+1年内償還予定の社債+リース債務+長期借入金+長期設備未払金+社債

※2 自己資本比率＝(株主資本+その他の包括利益累計額)／負債純資産合計

※3 ネットD/Eレシオ＝(有利子負債－現金及び預金)／純資産合計

6. 要約キャッシュ・フロー計算書（連結）

（単位：百万円）

	2023/3 累計	2024/3 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	7	1,986
税金等調整前当期純利益	△ 117	820
減価償却費	673	645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,591	△ 708
有形固定資産の取得による支出	△ 2,464	△ 862
投資有価証券の売却及び分配金による収入	-	100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 20	△ 255
配当金の支払額	△ 193	△ 193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,604	1,022
現金及び現金同等物の期首残高	11,659	9,054
現金及び現金同等物の期末残高	9,054	10,093

② 2025年3月期の予想

2025年3月期の連結業績予想

		前期(2024/3)		通期予想(2025/3)		前期比	
		金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	率(%)
(単位:百万円)							
売上高		28,842	100.0	30,116	100.0	1,273	4.4
営業利益		589	2.0	1,134	3.8	544	92.5
経常利益		1,189	4.1	1,161	3.9	△ 28	△ 2.4
親会社株主に帰属する当期純利益		213	0.7	433	1.4	219	102.6
1株当たり純利益(円)		11.05	-	22.38	-	11.33	-
1株当たり配当金(円)		10	-	10	-	-	-
介護事業	売上高	22,830	100.0	24,125	100.0	1,294	5.7
	利益	1,585	6.9	1,881	7.8	295	18.6
カラオケ事業	売上高	4,940	100.0	4,997	100.0	57	1.2
	利益	△ 324	-	△ 56	-	267	-
飲食事業	売上高	658	100.0	698	100.0	40	6.1
	利益	18	2.8	42	6.1	24	131.8
不動産事業	売上高	350	100.0	238	100.0	△ 111	△ 31.9
	利益	128	36.7	80	33.9	△ 47	△ 37.1

予想の前提条件

介護事業

新規開設
介護付きホーム
1カ所1事業所、56床

117カ所5,893床

カラオケ事業

新規出店 0店舗
退店 1店舗
期末店舗数 75店舗

飲食事業

期末店舗数 10店舗

不動産事業

販売用不動産売却収入の差額
△96百万円
販売用不動産売却益の差額
△26百万円

2025年3月期の配当予想

■ 2025年3月期の配当予想

中間配当5円。期末配当5円。

【参考資料】

社名	株式会社ウチヤマホールディングス
本社	福岡県北九州市小倉北区熊本2-10-10
設立	2006年10月（前身は1971年6月）
代表者	代表取締役会長 内山 文治 代表取締役社長 山本 武博
連結従業員数	正社員2,270名、パート・アルバイト等2,322名 合計4,592名（2024年3月末）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">● 介護事業● カラオケ事業● 飲食事業● 不動産事業● その他(インドネシア日本語学校等)

当社グループの歩み

Further growth: 上場(2012~)

- 2012年4月 大阪証券取引所(現 東京証券取引所) JASDAQ市場(スタンダード)に株式を上場
- 2013年12月 東京証券取引所市場第2部へ市場変更
- 2014年9月 東京証券取引所市場第1部指定
- 2022年4月 東京証券取引所スタンダード市場へ移行
- 2022年8月 特定技能外国人への支援業務を目的とする登録支援機関として登録
- 2022年12月 特定技能外国人材等に関する有料職業紹介事業の許可取得

Constitution: ウチヤマホールディングス設立(2006~)

- 2006年10月 福岡県北九州市小倉北区に株式移転により株式会社さわやか倶楽部、株式会社ボナーの持株会社として株式会社ウチヤマホールディングスを設立

2006

介護事業スタート(2003~)

- 2003年4月 介護付ホーム及びデイサービスの併設施設『さわやかパークサイド新川』を福岡県北九州市戸畑区に開所
- 2004年12月 介護部門を新設分割し、福岡県北九州市小倉南区に株式会社さわやか倶楽部を設立
- 2015年11月 障がい児通所支援事業 放課後等デイサービス「さわやか愛の家」を開所
- 2018年7月 インドネシアに職業訓練校を設立

2003



さわやかパークサイド新川

飲食事業スタート(1995~)

- 1995年11月 福岡県北九州市小倉北区に飲食事業1号店の居酒屋『酒膳房然』を開店
- 2014年11月 タイ1号店「かんできやスクンビット店」オープン

1995

1991

カラオケ事業スタート(1991~)

- 1991年4月 福岡県北九州市八幡西区にカラオケボックス1号店『コロッケ倶楽部黒崎店』を開店

Foundation: 不動産事業の開始(1971~)

- 1971年6月 不動産の販売、賃貸管理を目的として福岡県北九州市小倉北区に内山ビル株式会社を設立

1971



内山第1ビル

ウチヤマグループの概要

持株会社体制（2006年10月～）

2024年3月末時点

㈱ウチヤマホールディングス

連結会社

㈱さわやか倶楽部

PT. Sawayaka Fujindo Indonesia

連結会社

㈱ボナー

介護事業

その他

不動産事業

カラオケ事業

飲食事業

有料老人ホーム（介護付＆住宅型）、グループホーム等の高齢者
向サービスの提供及び障がい児
通所支援事業等の運営

・インドネシアにおける
インドネシア人を対象と
した日本語学校の運営
・人材紹介業
・特定技能外国人の登
録支援業務

・不動産事業におけ
る賃貸・管理・仲介・
売買業務
・収益不動産事業

カラオケボックスの部屋の
提供及び飲食の提供等

複数のコンセプトの居酒
屋を運営・展開、顧客層
に応じた飲食、サービス
の提供

入居者様・利用者様・お客様

※ PT. Sawayaka Fujindo Indonesiaは㈱さわやか倶楽部出資（60%）のインドネシアにおける合弁会社。